マオイ活動だより

コメとトウモロコシ

観光振興担当
古川　喬士さん

長沼町の皆様、こんにちは。地域おこしの古川です。

この原稿を書いている9月の前半、農村地区にある我が家の周りを散歩していると、水田では黄金色の稲穂が重たそうに揺れています。言葉では表せないほど、ただただ美しい光景です。もしかすると、実る稲穂の光景を美しいと感じることが、遺伝子に深く刻まれているのではないか、そう思ったりもします。

主食は、その国の文化と密接に関係していますね。

日本では、お米は「オオゲツヒメ」という神様の目から生まれた、という神話があるようです。日常でも、炊き立てのご飯の匂い、ご飯と合わせる料理のレパートリー、年末の餅つきに代表される様々な伝統行事も、この美しい穀物に基づいているように思います。

4年前に日本へ帰国するまで暮らしていた中南米、特にメキシコでは、お米と同じように、とうもろこしが文化の要石的な役割を担っています。「センテオトル」という、人々にとうもろこしをもたらしたとされる神様が広く信仰されている一方、マヤ神話では、創世記に当たる頃、とうもろこしの粉と何かを混ぜて最初の人間が作られたとされているほどです。

とうもろこしといっても、日本では主に飼料用に栽培されている、澱粉質主体のデントコーンやフリントコーンのことなのですが、それを茹でて潰した生地を円盤状に焼く「トルティーヤ」が、日本でいうご飯のような役割を果たしています。

様々なおかずをそれに乗せ、唐辛子、玉ねぎ、トマト、塩などで作られる「サルサ」をつけて食べるのですが、どことなく日本のご飯、惣菜、醤油のコンビネーションを思わせます。

メキシコにいるとき、日本のご飯や納豆の香り、味噌汁の味わいを無性に恋しく思ったように、今、日本に住んでいてふと、焼きたてのトルティーヤの香ばしい匂いを思い出すことがあります。そしてそれとともにカラッと乾いた風や、強い日差しにくっきりと浮かぶ街路樹の影など、生活していた時の記憶や感情も蘇ってきます。

記憶、思考や文化まで、食べ物、特に主食と心は切っても切り離せないものなのかなと感じています。日本のコメ、中南米のトウモロコシのどちらも、体にとっても心にとっても欠かせない大地の恵みです。

小さな小さなぱん屋さん

シティプロモーション担当
佐野　亜沙美さん

私は普段、至ってまったりマイペースですが、知りたいことや気になる事があると、スイッチが入り暴走することがまれにあります。

そんな暴走中の私を、お店のオーナー前でも招き入れて話を聞いてくれたり、焙煎中でもしっかり説明してくれたり、日々周りの方々に助けられ、支えられ、恵まれている環境を肌で感じている長沼生活です。

8月28日、12区（東4線北4番地）天然酵母パン「いしかわぱん」がオープンしました。

石川さんご夫婦は、パンを焼くための薪窯が使える環境を探し、長沼の良き土地に出会いました。

私と同じ、なんとなく知っている長沼町。ご主人は「不安もあるけど楽しみの方が大きい」と、ゆったり穏やかな笑顔で話されます。その寧な話し方はとても優しく、ご主の作るパンから味わうこともできます。

奥さま唯可さんは、長沼町に住んでみて「ビックリするほどみんな優しい」と、人懐っこくかわいい笑顔で話してくれます。唯可さんはお話上手で、あっちこっちに飛びまくる私の質問や話を、しっかりキャッチしてくれます。

小さなぱん屋さんの、ずっしり大きなカンパーニュ、いかがですか☆

「いしかわぱん」は小さなぱん屋さん、メニューはとてもシンプルです。

メインのカンパーニュは有機小麦粉、塩、水だけで丁寧に作られています。

自然のチカラで発酵する天然酵母を使用し薪窯で焼いているので、水分が飛ぶ前に焼きあがり、何日経ってもしっとりしています。

乳酸菌が発酵しているため焼きたては酸味があり、日が経つにつれ小麦の旨みが出てくるので、日々変化する味で毎日のパンライフを楽しめます。

カンパーニュの他にも食ぱんと塩ぱんや、手づくり焼き菓子のフロランタン、オートミールクッキーもあり、おすすめのカンパーニュサンドイッチは「レタス・トマト・チーズ・ハム」「はちみつと4種のチーズ」の2種類があります。

10月11日は安全安心なまちづくりの日　全国地域安全運動を実施します

「みんなで築こう、安全で安心な大地」

■運動期間　10月11日(月)から20日(水)までの10日間

■ポイント

【10月11日は安全安心なまちづくりの日】
・人と人との絆を強めるとともに、防犯意識を高め、犯罪のない安心して暮らせる北海道を目指しましょう。

【子どもの犯罪被害防止】
・「いかのおすし」の防犯標語による防犯指導や、登下校の見守り活動を行いましょう。
・ウォーキングやジョギング、買い物、犬の散歩などの日常活動の中でできる「ながら見守り」にご協力ください。
・防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯グッズを持たせましょう。

【女性の犯罪被害防止】
・夜間は、できるだけ人通りが多く明るい道を歩きましょう。
・イヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作しながらなどの「ながら歩き」は周囲の状況がわかりにくくなるので注意しましょう。
・防犯ブザーなどの防犯グッズを携帯しましょう。

【特殊詐欺の被害防止】
・普段から家族間で連絡を取り合い、詐欺のニュースの話題を共有し、注意しましょう。
・「自分だけは大丈夫」と思っている人ほど危険です。「自分もだまされるかもしれない」という心構えをしましょう。

【問合先】栗山警察署（☎0123－72－0110）

こんにちは！
消費生活相談室です

アナログ回線に戻す契約のはずがサポート契約に！！

ご相談は南空知消費生活相談室へ

【独立行政法人国民生活センター事例より】

大手通信会社のサポートセンターを名乗る事業者から「**電話を光回線からアナログ回線に戻さないか**」と電話があった。今はインターネットを使っていないので、ちょうどいいと思い契約した。しかしその後、毎月サポート料金として約3千円引き落とされていることが分かり、確認すると**1年縛りでサポート契約している**とのことだった。

解約を申し出ると、「今解約するとキャンセル料が発生する」と言われた。（70歳代　女性）

【消費者へのアドバイス】

●大手通信会社の名前を出していても、**実際は関係のない事業者が勧誘をしているケースがあります。**勧誘を受けた事業者名をしっかり確認しましょう。
●知らないうちに、回線の切り替えには必要のないサービスの契約を結んでいるケースもあります。勧誘を受けた際には、費用やサービス内容、解約条件などをよく確認し、必要ないと思ったらきっぱり断りましょう。
●光回線をアナログ回線に戻す場合には、現在の契約先や回線事業者に問合せましょう。
●困ったときは、すぐに最寄りの消費生活センターなどにご相談ください（消費者ホットライン「188」）。

【問合先】南空知消費生活相談室（☎0123-72-3581）